

# 共同利用施設 案内

主任：岡田 岬

鍼灸学講座：(内548)

m\_okada@meiji-u.ac.jp

室名：行動解析・分析室

場所：

5号館3階

内線：279

施設利用手引き

## 概要：動物実験のための研究室

無麻酔無拘束下でのレントゲン撮影、行動実験、脳内モノアミン量の測定(ブレインマイクロダイアリスシステム)、各種試薬の調整ができる。

## 共同利用機器備品リスト：

1. ブレインマイクロダイアリスシステム 1式  
(株式会社エイコム、HTEC-500 1台)  
(株式会社エイコム、マイクロシリンジポンプ 1台)  
(株式会社エイコム、オートインジェクター 1台)
2. 光学顕微鏡 (オリンパス株式会社、CX-41 1台)
3. 超音波ホモジナイザー (hielscher UP50H 1台)
4. 触覚(痛覚)閾値測定セット  
(自作 2台)(フォンフライ 1セット)
5. 電気刺激装置
6. 試薬調整機器  
天秤2種類、攪拌器、pHメータなど
7. ソフトX線撮影機 1台
8. 現像機 1台

## 機器用途【なにができる？】

1. 脳内の目的とする部位へプローブを挿入し、無麻酔、無拘束下でモノアミン(主にドパミン、セロトニン、ノルエピネフリン)が測定できる。
2. 小区画に区切られた実験台にて行動実験を行える。
3. 触覚閾値(行動実験)を測定することができる。
4. 脳などの組織中にある物質を抽出するために組織をホモジナイズすることができる。(モノアミンの分析は、2F生理活性物質分析室で測定可)
5. 組織切片を確認すること、簡易な撮影をすることができる。
6. 鍼通電刺激などの電気刺激を行うことができる。
7. 各種試薬を作成することができる。
8. 無麻酔無拘束下でのレントゲン撮影ができ(a)、現像できる(b)。

